

平成29年度 大阪府立大学 授業公開講座(後期)

番号	講座名	講師	曜日	コマ	開講日	定員
1	公衆衛生学Ⅱ	★ 星 英之	月	1	10月2日	20
2	中国古典語Ⅱ	★ 大平 桂一	月	2	10月2日	5
3	西洋文化史(西洋思想の系譜)	中村 治	月	2	10月2日	20
4	ソーシャルワーク概論	東 優子	月	2	10月2日	10
5	中国の思想	大形 徹	月	4	10月2日	5
6	ゼミナール 言語と文学	★ 村田 京子	月	4	10月2日	5
7	文化と宗教	★ 秋庭 裕	火	3	10月3日	5
8	ドイツ語中級CⅡ(読解)	★ 兼田 博	火	3	10月3日	5
9	科学と文化	斎藤 憲	水	1	10月4日	10
10	教育社会学	西田 芳正	金	1	9月29日	10
11	人間環境科学入門Ⅰ	牧岡 省吾	金	1	9月29日	20
12	陸域環境生態学	中山 祐一郎	金	2	9月29日	10
13	地域福祉論B	小野 達也	金	3	9月29日	10

【1コマ】 9:00~10:30 【2コマ】 10:40~12:10 【3コマ】 12:55~14:25 【4コマ】 14:35~16:05

対象 どなたでも(全期間を通じて受講できる方) ★は受講条件あり(中面参照)

受講料 1講座 5,000円 (受講料については返金いたしかねますのでご了承ください。)

会場 大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス 各教室
※車両での来学をご遠慮いただいておりますので、公共交通機関をご利用ください。

- 南海高野線「白鷺駅」下車、南西へ約0.5km、徒歩約7分。
- 南海高野線「中百舌鳥駅」下車、南東へ約1.0km、徒歩約13分。
- 地下鉄御堂筋線「なかもず駅」5号出口から南東へ約1.0km、徒歩約13分。



申込方法 「Eメール」又は「ハガキ」に、①ご希望の講座名、②氏名(ふりがな)、③年齢、④郵便番号・住所、⑤電話番号、⑥このチラシの入手先 をご記入の上、9月1日(金)【必着】までに、下記宛先へ。

※申込者多数の場合は抽選にて受講者を決定します(結果については全員に通知します)。
※抽選結果は、9月15日(金)までに発送予定です。
※お申込は、お一人様2講座まで。

申込先 E-mail jkk29@ao.osakafu-u.ac.jp (半角英数) ※携帯メール不可

ハガキ 〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1
大阪府立大学 C5棟 地域連携室「授業公開講座」係

問合せ先 TEL:072-254-9942 (地域連携室)



※お申込みの際の個人情報は、応募後の事務連絡、統計資料などの作成及び本学公開講座等のご案内のみに使用いたします。利用目的以外の使用については一切いたしません。



平成29年度
後期

授業公開講座

平成29年 平成30年
9月29日～1月29日

10回以上受講された方には、
修了証を交付(希望者のみ)



この公開講座は、一部の授業科目を一般の皆様公開し、学生とともに授業を受けていく講座です。

※ 講義概要については、中面をご覧ください。

【講義概要】

講座番号 1 公衆衛生学Ⅱ

現代システム科学域

星 英之 准教授 定員20名

公衆衛生学Ⅱでは、疾病予防に関して、前期に学んだ公衆衛生学Ⅰを基礎にさらに詳細な知識について学びます。その中で、喫煙・飲酒・身体活動などの要因と疾病予防に関する詳細な知識、さらに保健・医療・福祉・介護に関する行政面の考え方を身に付けることを目標にしています。

(注) 28年度に公衆衛生学Ⅱを受講された方は、お申込できません。

講座番号 2 中国古典語Ⅱ

高等教育推進機構

大平 桂一 教授 定員5名

中国の古典を中国語で音読し、味わいます。授業の初期に中国語の発音を音読します。発音は私が作成した教材、中国語未修者も歓迎いたします。読む内容は、詩経、楚辞、漢代の楽府、陶淵明の詩、初唐の詩、盛唐の詩、中唐の詩、晩唐の詩、北宋の詩、南宋の詩、金・元の詩、明の詩、清の詩です。本年度は宋以後の近世の詩も読んでみようと思っています。授業では慣れ親しんだ漢文訓読と現代中国語による直読を併用します。現代中国語による直読は暗唱をより容易にしますし、皆さんを作者の心理により近づけてくれます。どうぞ奮ってご参加ください。

(注) 過去に同講座を受講された方は、お申込できません。

講座番号 3 西洋文化史

地域保健学域（教育福祉学類）

中村 治 教授 定員20名

リン・ホワイト・Jrの「現在の生態学的危機の歴史的根源」などを読むことにより、キリスト教と環境問題の間にどのような関係があるか指摘されているのかを見たうえで、その指摘が妥当かどうかを、「創世記」に関するアウグスティヌスやトマス・アキナスの解釈、ニコル・オレーム、フランシス・ベーコン、デカルトなどの思想の検討、『中世の産業革命』、『人間と自然界』などの研究書を読むことによって考察し、人間と動物の関係、キリスト教と環境問題の関係について考えます。

講座番号 4 ソーシャルワーク概論

地域保健学域（教育福祉学類）

東 優子 教授 定員10名

社会福祉援助技術の入門科目として位置づけられる本講義では、地域でさまざまな相談援助活動に取り組むゲストスピーカーによるリレー・トークに耳を傾け、以下についての理解を深めることを目的とします。①社会福祉士の役割（総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発含む）と意義について、②精神保健福祉士の役割と意義について、③相談援助の概念と範囲について、④相談援助の理念について、⑤相談援助における権利擁護の意義と範囲について、⑥相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理について、⑦総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について。また、他者・相談援助に取り組む基本として、学生が自分自身（および価値観）と向き合うことを目的とするため、基本は講義形式ですが、部分的にグループ・ディスカッションを実施します。

講座番号 5 中国の思想

高等教育推進機構

大形 徹 教授 定員5名

長い歴史をもつ中国では数多くの思想が生みだされ、日本人にも大きな影響を与えています。孔子や孟子の儒家、老子や荘子の道家、墨子の墨家、韓非子の法家などの思想はとて興味深いものです。同時に中国の人々が知らず知らずのうちに形成していった、いわば中国人全体の思想ともいえる死生観や魂魄概念（魂魄はどこにあるのか、魂の語源、肉体をぬげだす魂と髪型との関係、坐忘、体内に入りこむ悪霊、侵入する鬼霊、疾病観と魂、悪霊をはらう方法）などについても考察します。これらもまた日本人の生活や考え方に大きな影響を与えているのです。

講座番号 6 ゼミナール 言語と文学

高等教育推進機構

村田 京子 教授 定員5名

19世紀の女性作家で「男装の麗人」および「ショパンの恋人」として有名なジョルジュ・サンドが70歳代になって、二人の孫娘のために書いた童話をフランス語テキストで読んでいきます（『タイタンのオルガン』、『花のささやき』など）。サンドの作品は妖精や巨人（タイタン）が登場するおとぎ話の形を取りながら、自然への理解や子どもの成長を促す深い内容になっています。文法事項を復習しながらフランス語の文章を味わっていきたいと思います。フランス語テキストは授業中に配布します。

(注) 受講はフランス語初級を履修した（または初級程度の学力を有する）方に限ります。

講座番号 7 文化と宗教

現代システム科学域

秋庭 裕 教授 定員5名

<目標> 日本宗教の「救い」を考察します。21世紀、グローバル化が刻々進展する時代にあって、私たちの文化伝統の屋台骨をなす宗教文化を見つめ直すことは必須不可欠です。それは「21世紀、東アジアの片隅で生きる私たちが、いかに幸福に、死ぬことができるかを、理論的に問う」ことでもあります。

<概要> ・一神教と多神教 ・宗教と呪術と科学 ・民俗宗教と教団宗教 ・新宗教／新新宗教／スピリチュアリティの興隆 ・日本宗教の「革新」 ・海を渡る日本宗教 ・21世紀における日本宗教の「可能性」

(注) 平成28年度、本講義を受講した方はお申込できません。

講座番号 8 ドイツ語中級CⅡ(読解)

高等教育推進機構

兼田 博 教授 定員5名

前期に実施したドイツ語中級CⅠよりさらに高度なドイツ語読解力を養い、最終段階では、文法的知識はすでに頭の中に整理され、辞書のみをたよりにしてドイツ語の原文を把握できるのが目標です。ドイツのオリジナルな題材も使い、多くの学習量をこなしながら、文の分析力も単語力もさらに完成させていきます。平成29年度前期と同じく『リーンハルトとゲルトルート』(Lienhardt und Gertrud)を続けて読みます。

(注) 前期の中級CⅠを受講していないと、後期の中級CⅡをお申込できません。

講座番号 9 科学と文化

高等教育推進機構

齋藤 憲 教授 定員10名

16世紀から17世紀の近代自然科学の成立の中で、とくに天文学に焦点をあてて、地球中心説(天動説)から太陽中心説(地動説)への転換を検討します。

古代の宇宙論を概観したあと、地球中心説に基づく天文学体系を集大成したプトレマイオスの『アルmageスト』を検討し、実際に太陽や惑星の位置決定のための計算の詳細を見ていきます。

近代の太陽中心説は1543年に刊行されたコペルニクスの『天球回転論』に始まりますが、これも実はプトレマイオスと同様の計算技術に基づく著作です。こちらも通常読まれることのない第2巻以降の計算の細部を検討し、しばしば「革命的」と言われるコペルニクスの理論が、プトレマイオスの計算技法の上に展開していることを確認します。

最後に、コペルニクス説がどの点において天文学者に評価されて、発展していったかを概観します。

講座番号 10 教育社会学

地域保健学域（教育福祉学類）

西田 芳正 教授 定員10名

社会の新しいメンバーに必要なとされる資質を身につけさせる営みと、その組織的な働きかけである学校教育の姿、それらを経験しつつ大人への途をたどる子ども・若者の姿は、社会の変化とともに大きく変動し、さまざまな問題状況を生み出しています。

授業の前半では、社会化についての基本事項を確認し、学校が登場する以前の伝統社会における社会化(子育て)の仕組みとその特徴を整理します。その知見を参照枠としつつ、現代社会における家族・地域社会における子どもの成長とその問題性を検討し、授業後半では学校教育に視点を移します。その際、近年注目を集めつつある格差・貧困・社会的排除と学校教育の関連に焦点を当て、不利な環境のなかで生育する子ども・若者が経験する学校における排除のメカニズムを検討します。併せて、排除に抗する学校・教師の事例を紹介し、排除型社会としての性格を強めつつある今日の日本において求められる学校教育の在り方について考えていきます。

講座番号 11 人間環境科学入門Ⅰ

現代システム科学域

牧岡 省吾 教授 定員20名

人の行動や行動の背後にある心のはたらきについて概説します。発達、学習、記憶、視覚、聴覚、思考、推論、言語など、心の様々な側面に焦点を当て、これまでに解明された様々な知見を紹介し、心の基本的な仕組みについて理解していきます。学問分野としては主として心理学を扱いますが、必要に応じて動物行動学、分子生物学、神経科学、言語学など、他の分野の知見も取り入れながら解説します。受講にあたって心理学に関する予備知識はとくに必要ありません。授業中に簡単な実験を行う場合もあります。

【教科書】鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃(編)心理学[第5版]東京大学出版会

講座番号 12 陸域環境生態学

現代システム科学域

中山 祐一郎 准教授 定員10名

人間の生存にとって不可欠な生態系サービスの理解、健全な生態系の維持と生物多様性の保全を実現するために必要な科学的知識の習得ならびに価値観の養成を目標にしています。生物の生活と環境との関係が理解できるように、生態系の構造と機能、生物の環境形成作用、生物種の環境に対する適応、個体群動態と種間の相互作用、生物群集の構造と多種共存機構について講義します。さらに、生物多様性とその意義、絶滅の要因とプロセスについて説明します。

講座番号 13 地域福祉論B

地域保健学域（教育福祉学類）

小野 達也 教授 定員10名

地域福祉論Bでは、地域福祉の実践の担い手やその進め方について学びます。地域福祉の推進には、さまざまな主体が関わり、多様な活動・事業が展開されています。地域での動きをどのように整理し、理解し、支援することができるかを考察します。具体的には、行政や社会福祉協議会、NPO、住民などの実践主体を取り上げていきます。また、地域福祉では、公私関係や組織化活動ということが重要であり、かつ、近年では地域での個人支援も進められています。こうした地域での援助活動についても学ぶほかに、そうした活動を支える仕組みについても検討します。地域での実践に関心のある人の参加をお待ちしています。